

※開封後はなるべく早くお使いください（お買い上げ後6ヶ月程度）

## 転写マーク製作手順

※これは白トナー・RIPソフトがある場合の手順です。  
RIPソフトがない場合の手順はこちらをご参照ください。



- 1 MP93シート**のツルツルした面にレーザープリンタで印刷。  
(用紙厚設定：ごく厚い紙1 ※お使いの環境や季節に合わせて変動します)  
※連続給紙すると印刷不良が起きるため、1枚ずつ給紙してください

下記のようなデザインの場合はRIPソフトが必要ありません

- K100%の黒一色や、MとYが100%ずつの赤一色など、濃い色設定のみで構成されたデザイン：でから印刷
- 白一色のみで構成されたデザイン：オブジェクトの色をK100%に設定してでからモノクロ印刷

### ① 印刷でうまくいかない時は…

- トナーが定着していない場合(印刷面を指で擦るとトナーが剥げる場合)は、印刷時の設定で用紙厚をより厚くしてください。
- ゴースト(残像)が出る場合(のちの④の作業後に余計な部分にまで糊がつく場合)は、印刷時の設定で用紙厚をより薄くしてください。



- 2** MPの印刷面とプラスターの糊面を合わせキャリアシートに挟み、ラミネーターに通す

- 3** 1回目はMPを上、2回目はプラスターを上にして計2回熱プレス  
汚れ防止にシリコン紙を乗せる

- 4** プラスターを上にして熱いうちに対角線上に向かって剥がす

### ② 抜き作業でうまくいかない時は…

- ②③④の作業は時間を置かず連続して行ってください。
- ③④でうまく抜けない場合で、デザインにベタが多い(抜けている部分が少ない)場合は、熱プレス機の温度を5°Cほど高め、熱プレス時間を10秒ほど長くしてください。
- ④でプラスターを剥がす際のスピードが遅すぎても早すぎても失敗に繋がります。剥がし始めと剥がし終わりを慎重にゆっくり剥がすようにすると、成功しやすいです。(製作動画参照)

製作動画



- 5** マークが出来上がったら、四辺を切り落とす

- 6** 布地に⑤で出来た転写マークを乗せ、熱プレス  
汚れ防止にシリコン紙を乗せる

- 7** 完全に冷めてから裏紙を  
慎重に剥がす

- 8** リケイ紙を乗せ仕上げ  
熱プレスをして完成！

※⑥と⑧の熱プレス温度と熱プレス時間は綿のTシャツ生地にプリントする場合を想定しての設定値です。  
ポリエステル生地の場合は125°C15秒、厚手の生地の場合は135°C40秒など、生地に合わせて温度・秒数を調整してください。

### リケイ紙について

弊社のリケイ紙は転写紙と熱板の接着を防ぐためにシリコンを塗布した特殊な用紙です。1枚で何度も使えます。  
オーブンペーパーなどのシリコン紙でも代用できますが、押し込む効果が少ないため、なるべく別売のリケイ紙を使う事をおすすめします。  
別売のフォースインペーパーをご使用いただくと、綿生地へのプリントの洗濯強度が高まります。フォースインペーパーのご購入はこちらから。



### カラーレーザープリンターについて

紙詰まりなどで機器の内部に汚れが付着している場合などは、普通紙を連続通紙するなどして十分汚れを取り除いてから新しい用紙に印刷するようにしてください。  
なお、機器のメーカーでは純正品以外のコート紙などを使用することを認めておりませんので、この用紙の使用はあくまで自己責任でお願いします。

## 《お取扱い上の注意》

- この用紙はカラーレーザープリンター専用ですので、それ以外のコピー機やプリンターでは使用しないでください。
- 125°Cに耐えられる布地であれば圧着可能ですが、凹凸のある生地等特殊な生地の場合は十分なテスト後にお使いください。
- プリント作業は圧力と熱が均一にかかる熱プレス機を使用してください。
- 熱プレス機に表示される温度と実際の表面温度とで差がありますので、十分にテストをして、ご使用の熱プレス機に合った温度設定でご使用ください。
- 残った用紙は袋に戻して密閉し、直射日光を避け、乾燥した場所で水平に保管してください。ご購入後は6ヶ月以内を目処にご使用ください。
- この用紙の使用により生ずる一切の損害に対する賠償には応じかねます。（レーザープリンター、ラミネーター、熱プレス機等の機器を含む）

企画・販売

株式会社クイックアート  
<https://quick-art.com/>

